

2016年4月25日

出場選手 各位

山口県テニス協会
会長 中田 吉也

全国実業団(B)対抗テニス大会 山口県予選大会(団体戦) 開催要項

表記大会を下記の要項で開催しますので、選手へのご連絡をお願いいたします
ガイドブックでは試合球は、中国予選の試合球に準じます。と記載しました。
中国予選の試合球は、ブリヂストンXT-8です
各チーム、お間違えないように、お持ち寄りください。よろしくをお願いいたします
一般女子・・・申し込みチーム数によっては予選はありません。(県予選の申し込みチームには、中国大会出場を後日案内をします)

記

1 場 所 宇部マテ”フレッセラ”テニスコート(砂入り人工芝)

2 日 程 (オーダー オブ プレイ)

	一般男子	一般女子
5月8日 (日)	9:00~	10:30~

※会場準備は8:00よりできます。ご協力をお願いします。

※練習は8:30から予定しています。

※監督者会議は、9:15より予定しています。

3 試合方式 8ゲームスプロセット・セミアドバンテージ方式(2回目のデュースはノーアドバンテージ)

※初回の試合はポイントが決定しても6ゲーム先取に切り替えて行う

※初回の試合以外は勝敗決定後、残り試合、途中試合、即、打ちきり。(敵守の事)

4 試合球

ブリヂストン XT-8 各チーム 3缶持参(大会本部へ預ける必要は無し)

本選は新缶で試合実施、勝者が新缶を貰い、敗者がセットボールを貰う。

コンソレーションはセットボールを使用します。

5 審 判

セルフジャッジ(またはSCU)

6 ルール等

① 5名以上の選手が出場できない場合そのチームは、失格とします。

※臨時社員(職員)、バイトは選手として認めません。

② 選手の追加は、受付時に大会本部に申請してください。

但し、チームの変更及び1人が2チーム以上を兼ねることは出来ません。

③ 2016年度日本テニス協会ルール(テニスルールブック)を準用します。

・遅刻に関しては、コード オブ コンダクトを適用します(15分以上遅刻すると失格)

・服装に関しては、コード オブ コンダクトを準用します(自チームの企業名、またはロゴマークは制限しません)。

・携帯電話は、電源を切るかマナーモードに設定し、試合中使用してはいけません

・セットブレイク・ルールを採用します(第1ゲーム終了後とタイブレイク中は、休憩なしでエンドを交代)

・ベンチコーチは1名認めます。

④ 運営は、オーダー オブ プレイに従い、進行板を使用して行います。(試合中は原則として放送はしない)

待機のチームは、ボールを用意して予定のコートに待機してください。

⑤ 試合前の練習は、ストローク2本サービス2本とします。

⑥ 本部にオーダー用紙を取りに来て、所定のコートで待機してください。

⑦ 試合終了後コート整備をお願いします。

⑧ 試合終了後挨拶を済ませたら、勝者のチームは直ちに本部に大会結果を報告してください。

⑨ オーダーはフリーとします。(単復の重複は不可)

⑩ 対戦の順番は、D1→S1→D2とします。

⑪ 待機のチームは前の試合のチームがコートより退場次第、挨拶、オーダー用紙交換後直ちに試合を開始してください。

⑫ 3位決定戦を行います。

⑬ コンソレーションを行います。(試合前の練習はサービスのみです。試合方式は6ゲーム先取、ノーアドバンテージとします。)

7 注意事項

① 欠場してもエントリー代は徴収します。

② 小雨決行。決定は会場で発表します。

③ 大会期間中の事故、負傷については責任を負いません。

④ 体調が悪い場合は無理をせず棄権する勇気を持ってください。

⑤ ゴミ、空き缶、弁当殻等は放置せず、各自で持ち帰ってください。

⑥ 場内禁煙です。喫煙はコート外の所定の場所をお願いします。

⑦ 8時30分から9時15分まで練習時間とします。会場は8時以前のウォームアップ、ランニングは禁止です。

※ コート使用が悪い場合はコートを借りれなくなります。ご協力をお願いします。

⑧ NSの連絡先

NSの連絡は大会日の前日までにFAXまたはメール(携帯を含む)

山口県テニス協会事務局

FAX 083-923-0071

Mail ypta@car.ocn.ne.jp

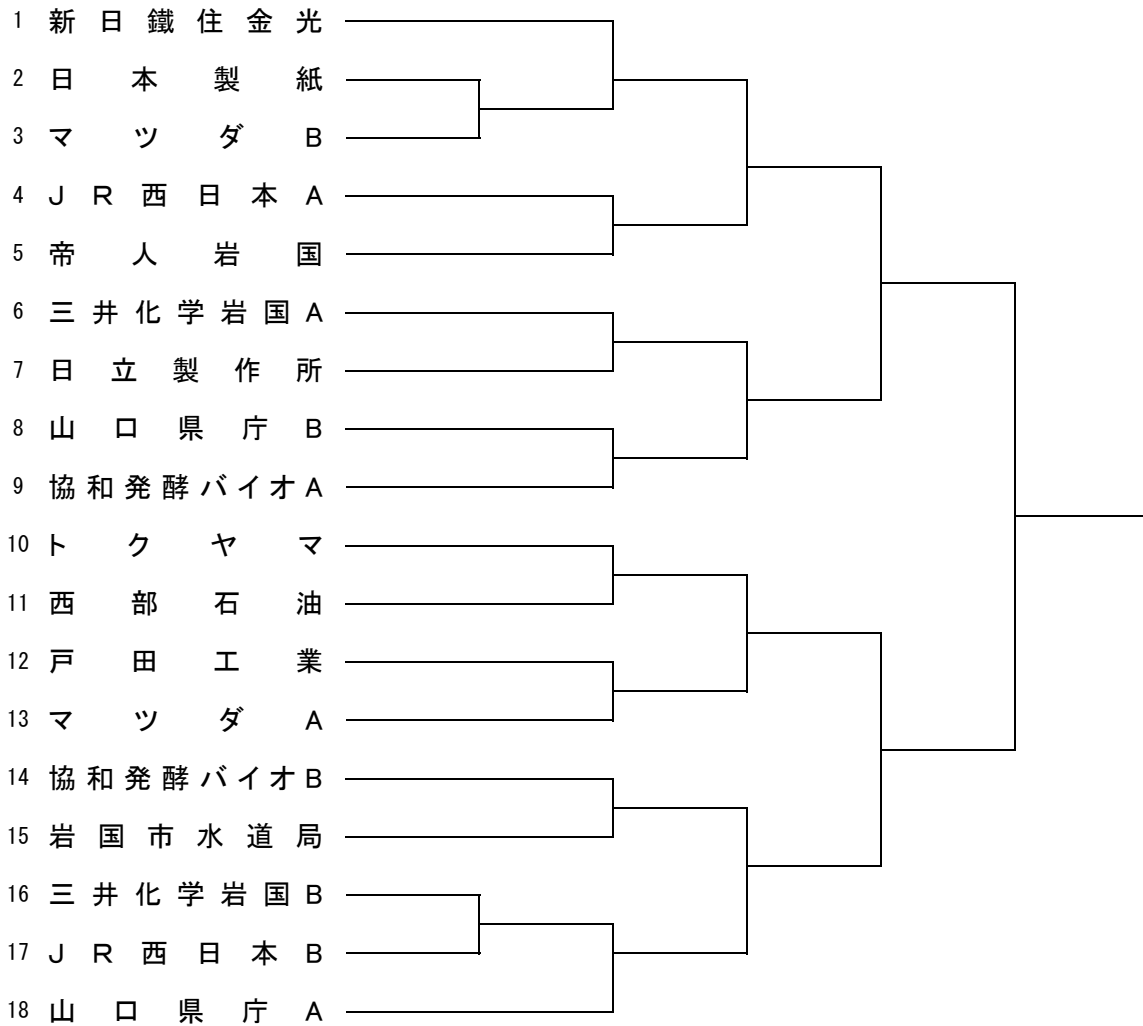
8 中国予選大会へ一般男子、一般女子とも上位2チームを県代表として推薦する。

中国地区予選:6月25日~6月26日(岡山、備前) 全国大会:8月26日~28日(広島、広島市)

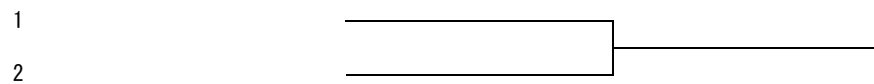
全国実業団(B)対抗テニス大会 山口県予選

【平成28年5月8日(日) 宇部マテ・フレッセラテニスコート】

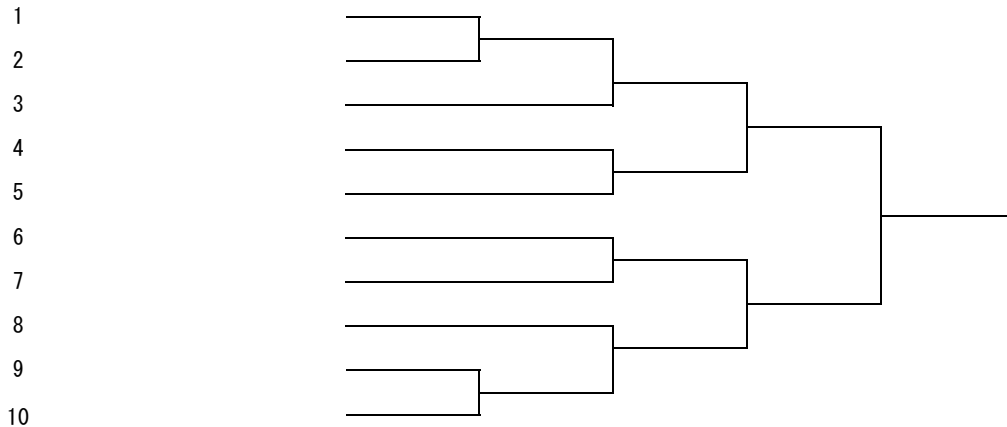
【男子】



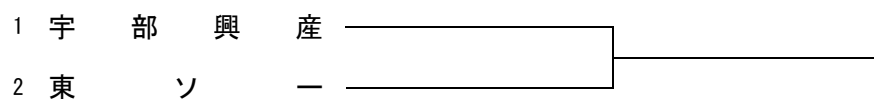
3位決定戦



男子コンソレーション



【女子】



全国実業団(B)対抗テニス大会 山口県予選 選手名簿

【平成28年5月8日(日) 宇部マテ・フレッセラテニスコート】

種目	No	団体名	監督	選手1	選手2	選手3	選手4	選手5	選手6	選手7	選手8	選手9
男子	1	新日鐵住金光	木村 圭太	藤井 秀徳	木村 圭太	山本 哲也	田端 智史	栗崎 聡	田口 篤史	藤田 直也	本村 洋	
男子	2	日本製紙	瀧本 広隆	浅井 賢介	西村 隆秀	早川 潤一	高橋 一人	河合 徹	瀧本 広隆			
男子	3	マツダB	濱上 英明	濱上 英明	金坂 知典	新野 雅治	原 直樹	橋本 洸一				
男子	4	JR西日本A	松富 和彦	松富 和彦	井下 浩三	伊藤 太一	山崎 修	松村 政弘				
男子	5	帝人岩国	寺本 満	大塚 淳弘	土屋 英良	阿部 和広	作本 成央	永澤 仁志	谷内 一輝	本田 尚	井下 靖生	寺本 満
男子	6	三井化学岩国A	大熊 正	大熊 正	神田 耕作	小野 功喜	三井 優也	松木 直也	西原 司			
男子	7	日立製作所	山本 英樹	吉田 剛	山本 英樹	貝森 勝	石村 裕昭	中津 拓真				
男子	8	山口県庁B	伊藤 啓一郎	吉山 文彦	井上 智	伊藤 啓一郎	柿並 隆夫	田川 和宏	河村 真吾	古谷 仁		
男子	9	協和発酵バイオA	林 洋明	林 洋明	中本 裕紀	山根 暁史	白井 貴大	村中 祐介	原田 達矢	磯谷 晃宏		
男子	10	トクヤマ	中川 弘之	中村 正博	中川 弘之	棟近 俊宏	温品 敏広	内山 政昭	佐伯 幸一			
男子	11	西部石油	津野地 政規	北本 達也	殿村 謙	河本 信	津野地 政規	大下 光次				
男子	12	戸田工業	上田 幸樹	上田 幸樹	河野 潤一	菊谷 和彦	木村 倫康	田中 貞行	三好 浩志	山野 義雄		
男子	13	マツダA	谷藤 伸彦	谷藤 伸彦	梶田 博史	福井 信行	田村 和宏	山本 浩次郎				
男子	14	協和発酵バイオB	高崎 英治	高崎 英治	中村 勝浩	橋本 洋典	藤村 昇一	古谷 鉄男	福永 健太	安本 拓司	村上 浩一	
男子	15	岩国市水道局	松村 光敏	藤井 敬志	松村 光敏	中村 健司	中上 雄一	中野 祥一	村岡 輝和	上田 浩之	田中 雄己	
男子	16	三井化学岩国B	岡村 浩次	三浦 明弘	久保 力	岡村 浩次	西田 満隆	松岡 武	長尾 知宏	貞政 秀知		
男子	17	JR西日本B	上谷 春寿	上谷 春寿	中村 洋缶	久保田 融	安藤 拓馬	川田 優太	松村 康平	稲垣 利樹		
男子	18	山口県庁A	田中 哲司	山根 智	有馬 秀幸	岡村 健夫	濱中 辰夫	村川 収	永岡 慎也	田中 哲司		
女子	1	宇部興産	林 亜紀子	上田 三千代	安藤 誓子	大庭 亜弥子	植田 あき	永島 愛	林 亜紀子			
女子	2	東ソー	藤井 香織	国沢 美代子	吉岡 悦子	佐古 葉月	澤 成美	藤井 香織				

2016実業団県予選 コート割

時間		5月8日(日)							
		屋根付コート				屋外コート			
		No.20	No.19	No.18	No.17	No.1	No.2	No.3	No.4
練習	8:30	2. 日本製紙	4. JR西日本A	6. 三井化学岩国A	8. 山口県庁B	10. トクヤマ	12. 戸田工業	14. 協和発酵バイオ	16. 三井化学岩国B
	8:45								
	9:00	3. マツダB	5. 帝人岩国	7. 日立製作所	9. 協和発酵バイオA	11. 西部石油	13. マツダA	15. 岩国市水道局	17. JR西日本B
	9:15	1. 新日鐵住金光	2. 山口県庁A	【女子】1. 宇部興産	【女子】2. 東ソー				
	9:15	監督者会議							
	9:30	監督者会議							
	9:30	2. 日本製紙 vs 3. マツダB	4. JR西日本A vs 5. 帝人岩国	6. 三井化学岩国A vs 7. 日立製作所	8. 山口県庁B vs 9. 協和発酵バイオA	10. トクヤマ vs 11. 西部石油	12. 戸田工業 vs 13. マツダA	14. 協和発酵バイオB vs 15. 岩国市水道局	16. 三井化学岩国B vs 17. JR西日本B
		1. 新日鐵住金光 vs 2. 日本製紙 3. マツダB		【女子】1. 宇部興産 vs 【女子】2. 東ソー		2. 山口県庁A vs 16. 三井化学岩国B 17. JR西日本B		コンソレ	
		QF 1-5	QF 6-9	QF 10-13	QF 14-16				
		SF 1-9		SF 10-18		コンソレ			
		F		3位決定戦					

服装用具に関するコード (試合前に確認しておきましょう)

テニスウェアのロゴの大きさと数の制限

帽子

リストバンド

くつした

製造業者ロゴ：13平方センチ

製造業者ロゴ：52平方センチ（文字表示は26平方センチまで）

コマーシャルロゴ：19.5平方センチ

- ☆ ワンピースはウエストから上をシャツ、下をスカートとみなす。
- ☆ 13平方センチの製造業者ロゴ2つの代わりに26平方センチのロゴ1つを付てもよい。
- ☆ アディダスの3本線は製造業者ロゴとみなす。
- ☆ ウォームアップスーツについても同じ大きさと数が適用される。
- ☆ 大会によっては色、襟付きシャツなどを制限、規定する場合がある。

不明な点は、レフェリー又はロービングアンパイアに確認すること。

チェアアンパイアがつかない試合方法(JTA TENNIS RULE BOOK)

1、セルフジャッジの方法

プレーヤー・チームが判定とコールすることをセルフジャッジと言い、以下のとおり行なう。

- 1) サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。
- 2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、あるいはボールを見失って判定できなかったときは「グッド」である。
ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。
- 3) 判定とコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに行なう。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出してアウト、フォールトを示し、手のひらを地面に向けてグッドを示す。
- 4) 「アウト」または「フォールト」とコールした直後に、プレーヤー自身が「グッド」と訂正した場合は、そのプレーヤーの失点となる。また「アウト」「フォールト」とコールし、レフェリーまたはロービングアンパイアによってオーバールールされた場合もそのプレーヤー・チームの失点となる。

ただし例外として、サーブされたボールがネットに触れたあとのフォールトを、「グッド」にオーバールールされた、あるいはプレーヤー自身が訂正した場合はそのサービスをやり直す。この場合に限って失点しない。

「グッド」の判定を「フォールト」「アウト」とオーバールールされた場合は、その「フォールト」「アウト」の判定が成立する。

- 5) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップ、またはバンドに触れたサービスを、1人が「フォールト」パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は「(サービスの)レット」となる。
- 6) クレーコートでは、相手のプレーヤー・チームにボールマークの確認を要求できる。必要であれば、相手コートへ行ってボールマークを見ても良い。相手と判定が食い違った場合はレフェリーが最終判定をする。両者が示すボールマークの位置が食い違う場合、あるいは判定できるほどのマークが残っていない場合は最初のコールが成立する。ただし必要以上にBMIを申し出る選手には、レフェリーが適切な処置を取る場合がある。クレーコート以外はボールマークのチェックを行うことはできない。
- 7) サービスのレットはレシーバーがコールする。誤ってサーバーがサービスのレットをコールした時は、以下の判断がくだされる
 - ① そのコールによって、プレーが停止された場合は、サーバーの失点。
 - ② そのコールに、レシーバーが同意した場合は、サービスのレット。
 - ③ そのコールにかかわらず、プレーが続きポイントが終了した場合は、ポイントが成立する。
- 8) インプレー中、他コートからボールが入って来るなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。
- 9) インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。ただし落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合はポイントが成立する。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。
- 10) スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアが分からなくなった時も同様に処理する。

再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。ただし、ゲームスコアが訂正され、再開する場合のサーバーは、次の順のサーバーに交代しなければならない。(同じプレーヤーが2ゲーム連続サーバーにはなれない。)

- 11) 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ① 試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時
 - ② 相手選手の言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある場合
 - ③ プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時
- 12) メディカルタイムアウトを取りたい時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに申し出る。トレーナーのいない大会ではプレーヤー自身が手当てをすることができるが、レフェリーまたはロービングアンパイアによって、手当てを必要とする状態かどうか確認後、その許可を得て3分以内に処置を行う。
- 13) 試合終了後、勝者は大会本部に試合ボールを届け、スコアを報告する。